

講座名	森に親しむ野外講座「玉原高原の秋～ブナ林と草紅葉の湿原を楽しむ」		
開催日時	2023年 10月 25日(水) 7時10分 ~ 18時30分		
開催場所	群馬県沼田市玉原高原周辺	一般参加者	26名

活動概要

玉原は、首都圏から最も近い本格的なブナ林と、美しい湿原を有する自然豊かな地域。特に湿原は先般「未来に残したい草原の里100選」に選定されたばかりである。今回は上り下りのある「ブナ平」を往復しその後湿原をめぐるAコースと、ゆっくり湿原とその周辺をめぐるBコースの二コースに分かれて実施した。天候に恵まれ、気持ち良く晩秋のハイキングができた。

バスの中で玉原の地形と気候、人間の営みとの関り、ブナという樹種の特徴、ブナの樹皮につく地衣類などについて説明した。

現地では、Aコースは、ブナの大木を中心とする森をじっくり歩いた。オオカメノキ、クロモジ、タムシバなどは既に冬芽を準備し冬に備えている。多くのカエデも観察できた。

一方、Bコースでは、湿原の景観を観察した後、湿原最奥部のブナ林に入り、快適な落葉広葉樹の森を満喫した。ブナ同様に雪に強いアスナロや、わずかに残るツルリンドウ、タムシバ、ツルアリドオシなどの実も楽しんだ。

湿原でシカの食害で、ハクサンタイゲキの草紅葉はほぼ全滅だったが、その代わりにスゲ類を中心とする美しい草黄葉を楽しむことができた。



ブナの大木の林



紅葉の木道を歩く



湿原の草黄葉(遠景はブナ平)



ブナ、アスナロの落葉、ツルアリドオシ

F I C講師：樋口、寺嶋、安武、鈴木、片山、長岡